

DPR 強制再生

■適応車種

デュトロ (BDG-XZU、BKG-XZU、SKG-XZU) 等

G-scan を使用して行う『DPR 強制再生』要領を記載しますので、参考にしてください。

※注意※

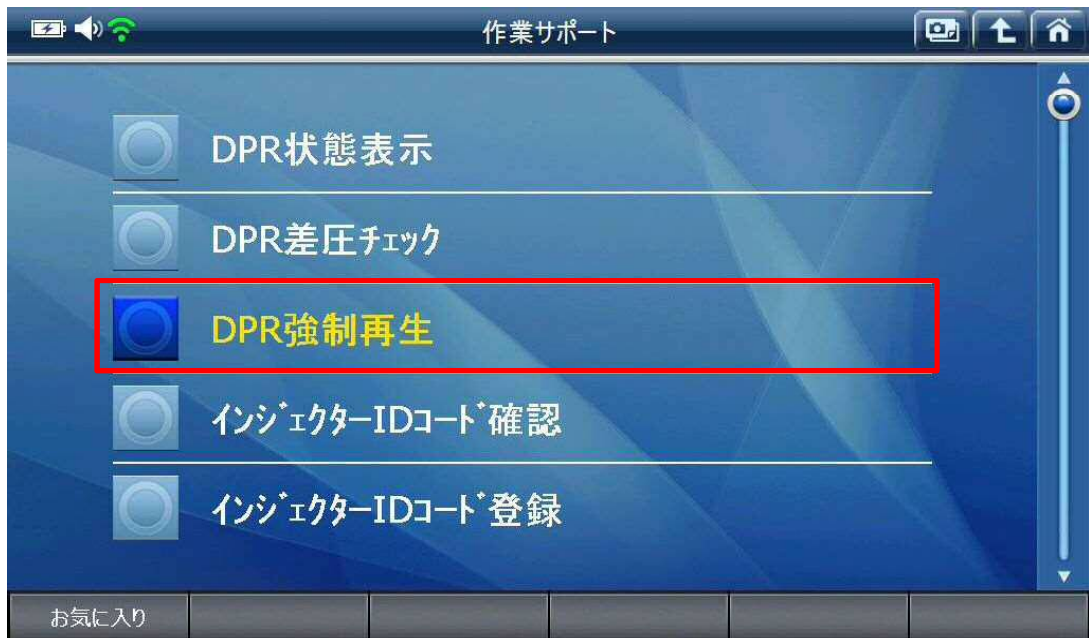
- ・DPR 強制再生は車両停止状態、車両が正常な状態（ウォーニングランプ消灯時、故障未検出時）で実行してください。
- ・DPR 強制再生を行う際はシフトレバーPレンジまたはNレンジでパーキングブレーキを効かせた状態で作業を行ってください。
- ・DPR 強制再生を連続で行うと DPR に負荷がかかります。
- ・DPR 強制再生を行う際は車両の周辺に人や可燃物などが無いことを確認してください。
- ・PTO 装着車は、PTO の作動を停止してください。
- ・DPR 強制再生中は白煙が発生する場合があります。換気の悪い場所での作業は行わないでください。

1. IG SW OFF の状態で、G-scan を診断コネクタ (OBD16 ピン) に接続してください。
2. 車両を安全な場所に停止させる。

※注意※

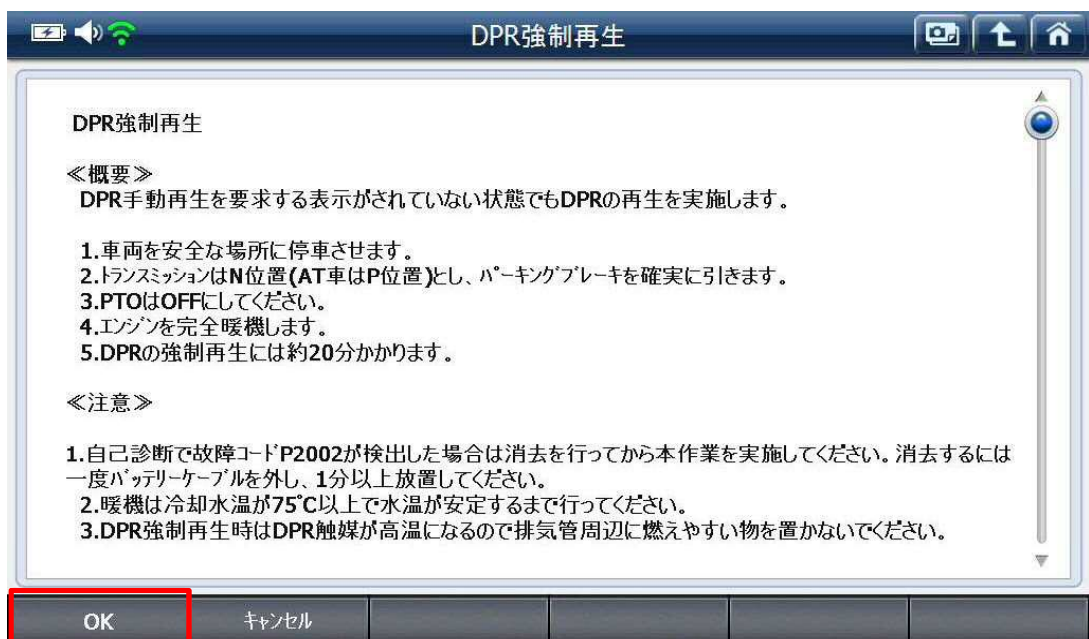
- ・DPR 強制再生時は DPR 触媒が高温になりますので排気管周りに燃えやすいものを置かないでください。
3. IG SW ON およびアイドルの状態、G-scan の電源を ON にして車種、システムを選択してください。選択するシステムに関しては『エンジン』を選択してください。
 4. トランスミッションは、ニュートラル位置で、パーキングブレーキを確実に引きます。

5. 診断メニューにおいて、『作業サポート』から『DPR 強制再生』を選択してください。



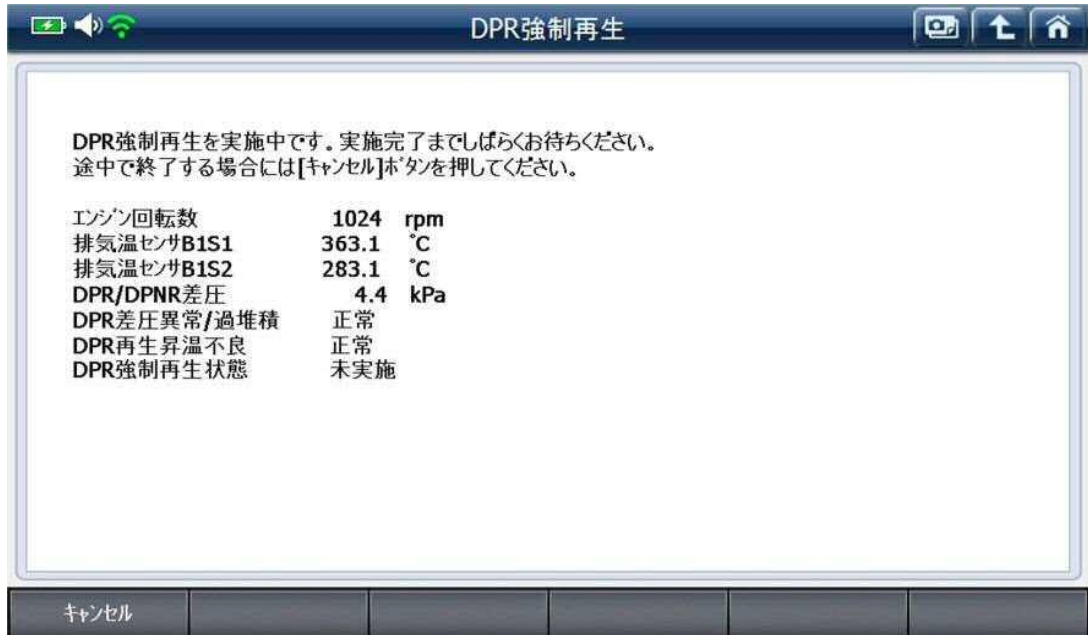
〈図: 作業サポートを選択〉

6. 『DPR 強制再生』の注意事項を確認して、『OK』を選択してください。



〈図: DPR 強制再生を実行〉

7. DPR 強制再生を実施中です。アイドル回転数が上がり、エキゾーストブレーキが作動することを確認してください。



〈図：DPR 強制再生を実行〉

※注意※

- ・強制再生中に排気温(OUT)が 800°Cを超えたら速やかに強制再生を中止してください。強制再生駆動中に P2002 が再出力する場合は、触媒劣化が考えられます。
- ・強制再生駆動中にエキゾーストブレーキが開閉を繰り返す、または、エキゾーストブレーキが閉じない場合は、エキゾーストシステムを点検すると共に、エンジン負荷が異常に高いと考えられるため点検してください。
- ・強制再生は実施から終了まで約 15 分から 25 分かかります。

8. エンジン回転数が下がり、エキゾーストブレーキが解除（メータ内インジケータ消灯）され、G-scan の画面上で強制再生が終了した事を確認してください。



〈図：DPR 強制再生完了画面〉

9. G-scan の診断メニューにおいて『データ表示』から『DPR/DPNR 差圧』を表示させブレーキをしっかりと踏んだ状態で、アクセルペダル全開時の（無負荷エンジン回転数は約 3650 r/min になる）差圧の中心値を読取ります。

アクセルペダルを全開にし、エンジン回転が安定したらできるだけ早く『DPR/DPNR 差圧』を読取ってください。

基準値(参考)

N04C エンジン 15 kPa 以下

※注意※

・排気温度が高いと『DPR/DPNR 差圧』を正しく計測できません。

10. エンジンオイル量を点検します。エンジンオイルがレベルゲージ点検（X印）を超えている場合はエンジンオイルを交換してください。